

## 《 執筆要綱 》

### 1. 論文の構成

- 1) 標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し，できるだけ簡潔に記載する。なお，和文および英文の両方を記載する。原則として略語・略称は用いない。
- 2) 著者名：著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。著者名は，和文および英文の両方を記載すること。
- 3) 要旨：「目的」，「方法」，「結果」，「結論」について項を分けて簡潔に記載する。
- 4) キーワード：キーワード数は3個とし，各キーワード間はセミコロン(;) で区切って記載する。
- 5) 本文（注1）
  - ①はじめに（序論，緒言）

研究の背景，臨床的意義，研究の目的，取り扱っている主題の範囲，先行研究との関連性の明示などを記述する。
  - ②対象および方法  
研究方法については第3者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。
  - ③結果（成績）

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。
  - ④考察（分析）

結果の分析・評価，今後の課題などを記述する。
  - ⑤まとめ
  - ⑥謝辞  
必要に応じて記載する。著者資格には該当しない研究への貢献者，および助成金受給については謝辞に記載する。
- 6) 文献：文献は最小限にとどめる。記載方法については次頁「**5.文献**」を参照のこと。

### 2. 投稿原稿の構成

表紙頁，著者頁，要旨，本文，文献，図表，図表の説明文で構成する。原稿の順序は，1 ページ目を表紙とし，表題（和文，英文），著者（筆頭著者および共著者全員分の和文，英文），所属名，所属住所（郵便番号も明記）と電話番号，FAX 番号，メールアドレス，希望原稿種類（研究論文，症例研究など）を，2 ページ目は要旨ならびに日本語キーワードを記載し，3 ページ目から本文とする。

### 3. 原稿の規程分量

原稿スタイルは，A4 判で 12 ポイント明朝体，全角 20 文字× 35 行とする。本文原稿は 6,000 字以内とし，図表・写真（白黒）は 5 枚以内とする。ただし，5 枚を越える場合は，

図表・写真 1 枚につき本文 400 文字を減ずること。論文には要旨 (400 字程度) をつける。

#### 4. 図・表

図・表および写真には図 1, 図 2, あるいは表 1, 表 2, のようにそれぞれ番号を付けて, 一括して原稿の末尾に添えることとして原稿 (本文) 中にはレイアウトしない。なお, 図・表の挿入場所が分かるように, 適宜, 文中で触れている説明文などに図○, 表○あるいはカッコで囲んで (図○) (表○) のように記述すること。使用する写真は, 鮮明なものを使用すること。図・表および写真には必ず見出し (表題) を付ける。その場合, 図の見出しは図下に, 表の見出しは表上に付けること。なお, 図・表についてその内容を示す文章を図・表とは別ページに簡潔に記載すること。

#### 5. 文献

文献は最小限にとどめ, 本文の引用順に並べる。引用文献は引用箇所の肩に 1) などの番号を上付き文字として示し, 本文原稿の最後に番号順に記載する。記載方法は, 雑誌の場合は, 著者氏名, 論文題名, 雑誌名, 巻, ページ (最初-最後), 発行西暦年。単行本の場合は, 著者氏名, 書名, 編者名, 発行所名, 発行地, 発行西暦年, ページ。訳本の場合は, 原著者名, 書名, 発行所, 発行西暦年 (訳者名, 書名, 発行所名, 発行地, 発行西暦年, ページ) の順に書くこと。文献の省略は公の省略法 (Index Medius) に従う。文献の著者が 2 名以上の場合は, 筆頭者を書き, 残りは「・他」または「, et al」とする。

(例)

##### ① 雑誌の場合

1) 小室透・他: 片麻痺の運動時皮膚温変化. 理学療法学 18 (1): 5-11, 1991.

2) Hulme JB, et al: Communication between physicians and physical therapists. Phys Ther 68 (1): 26-31, 1988.

##### ② 単行本の場合

3) 野島元雄: 進行性筋ジストロフィー症, 各種神経筋疾患. 「リハビリテーション医学全書 20」. 上田敏 (編), 医歯薬出版, 東京, 1975, pp160-269.

4) Desmedt JE, et al: Progress in Clinical Neurophysiology. (ed. by Desmedt JE), Vol.8, Karger, Basel, 1980, pp215-242.

##### ③ 訳本の場合

5) Oh JS: Clinical Electromyography-Nerve conduction studies (Second Edition). Lippincott Williams&Wilkins, Philadelphia, 1993 (白井康正監訳, 筋電図実践マニュアル- 各種検査法の手技とデータ解釈. メディカルサイエンスインターナショナル, 東京, 2002, pp43-62).

## 6. 数量の単位

単位は原則として国際単位系 (SI 単位) を用いる。長さ : m, 質量 : kg, 時間 : s, 温度 : °C, 周波数 : Hz 等。

## 7. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

## 8. 本文の表記方法

句読点は「。」および「,」を用いる。

## 9. 機器名の記載法

機器名は、「一般名 (会社名, 製品名)」で表記する。なお, 統計ソフトは「製品名, バージョン番号」とする。

## 10. チェック表

投稿に当たっては, チェック表で確認し, チェック表も送付すること。

## 11. その他

- 1) 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。
- 2) 原稿には, 表紙を含めページ数を必ず記入する。
- 3) 原稿は採否に関わらず原則として返却しない。

(注 1) 記事の種類によって本文構成は異なる場合がある。